

平成11年3月24日

「つるが・きらめきみなと博21」への出展概要について(お知らせ)

北陸電力株式会社

当社および関西電力株式会社、日本原子力発電株式会社、核燃料サイクル開発機構は、敦賀港開港100周年記念事業である「つるが・きらめきみなと博21」(期間:平成11年7月18日～8月16日、会場:敦賀港金ヶ崎緑地)へ「エネルギー館(仮称)」を出展しますが、その出展概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

記

1. パビリオン名: エネルギー館(仮称)
2. 出展面積: 3,580m² (延べ面積 約4,200m²)
3. 出展意図(コンセプト): 博覧会テーマ「きらめいて、つるが」に則した「楽しみ」「遊び」「体験」を通じエネルギーに関心を持っていただく。
4. 出展テーマ: 「海」を舞台とした臨場感あふれる映像および博覧会のモチーフである「港」「船」を舞台としたエンターテインメント性あふれる展示により、敦賀港のイメージアップに貢献する。
5. 出展内容: 「映像館」(地上2階、延べ面積 約1,730m²)と「展示館」(地上1階、延べ面積 約2,210m²)、ロビー部分(延べ面積 約260m²)で構成されています。
「映像館」では、日本海側初の大型スクリーン(高さ16m～幅21m)による世界初の海洋IMAX3次元立体映像「ブルーオアシス」(上映時間約20分)をご覧ください。(定員240席)
「展示館」では、巨大帆船および敦賀湾をイメージした海中を舞台に、パソコンを利用したオリエンテーリングゲームおよび船や港に関する資料展示等で楽しんでいただきます。
6. 見どころ: 「ブルーオアシス」は、カリフォルニア沖を中心に撮影が行われたものです。地球上最大の海洋植物であるケルプ(海藻)の森やその中で生活を営む生き物達の姿を巨大スクリーン上に立体的に映し出し、海の実しさ、素晴らしさを海中遊泳しながら満喫していただけます。
展示館においては、「お魚カード」を受け取り入場すると、港に停泊する巨大な帆船が出迎え、そして、光きらめく海底へと続いていきます。来場者は「カード」と同じマークのパソコンを探して、エネルギーに関するクイズやゲームを楽しみながら、また、展示資料等もご覧いただきながら、魚たちとの敦賀湾の旅を大人も子供も楽しんでいただけます。
「映像館」「展示館」の港側壁面は全面ガラス張りになっており、敦賀湾のパノラマが一望できます。

以上

問合せ先: 北陸電力株式会社 敦賀営業所(加藤); 0770-25-1212

